

# 福岡がんピアサポート講座 第4回 (全10回)

## 九州がんセンター 2F 会議室にて



この講座が実現したのは、日本対がん協会のテキストとDVD、そして九州がんセンターの全面的な支援のおかげです。ピアサポート(=同じ病気の仲間による支援)が日本のがん医療の場で今後必要とされてくることを受けた企画です。

- 2013.7.8 Mon 13:00 ~ 15:45

### 第4回目 講義内容

- 1 限 . 13:00 (45分) **がん看護と家族へのケア**  
(講師: 野口久美子 / 副看護師長)
- 2 限 . 14:00 (45分) **早期からの緩和ケア**  
(講師: 大谷弘行 / 緩和治療科 医師)
- 3 限 . 15:00 (45分) **サイコオンコロジー**  
(講師: 大島彰 / サイコオンコロジー科 医長)



### 「ピアサポート」とは

ピアサポートとは、がんという病気を体験した人や家族が、ピア(仲間)として「体験を共有し、ともに考える」ことにより、がん患者やその家族などを支援していくこと。ピアサポートを行う人を「ピアサポーター」と言います。

### がんに対するこころの反応と負担、こころの健康に対する適切なケアの大切さとは



ピアサポート講座第4回目。1限目内で、野口副看護師長は上司に助言されたという例を紹介。患者さんの怒りの矛先が分からなくて悩んだら、その患者・家族・医療チームの相関図を紙に書くと、どこがコミュニケーションが取れていないか分かり**その人に怒りという表現の選択肢しかなかった何かが見えてくると**。分かったつもり知ったつもりが一番危険だというお話にはインパクトがありました。2限目緩和治療科の大谷先生は、**今でも多いのが、緩和ケア=進行したがん患者に対するケアという誤解です**。痛みや不安を出来るだけ少なくする事はがんと診断されたその日から考えること。ケアが適切であることが自分や家族の生活を守り自分らしさを保つことにつながるそう。そのためには自身の体の変化を記す記録ノートを取ることが必要です。**ノートの雛形が**※1 ネット上に公開されているので是非ご覧ください。3限目はサイコオンコロジー科医長大島先生。この科には2つの柱があり、1つは**がんが心に与える影響をチームでケアすること**。2つ目は**がんと心についての研究を進めること**。がんと心の関係は密接で、闘争心がある人の方が生存率が伸びる・暗い性格だと免疫力が落ちるなど、よく耳にする噂が、治療を通して研究されています。がんに対して悲観的になるとQOL(生活の質)が低下する為治療意欲を奪うことがあり、家族の気持ちの辛さを助長するとのこと。それが前者に繋がるのかもしれませんが。第5回目は腫瘍科の先生方による専門的な講義が始まる予定です。

Fukuoka, JP

34°C Mon, 08.Jul. 2013



※1 記録ノートの雛形ファイル <http://www.az-oncology.jp/best/pdf/colornote1.pdf>